

活動の進め方とマニュアルの活用方法（2）



自主防災組織活動チェックリストの使い方

自主防災活動の最終目標を達成するために活動状況を把握することが大切です。「自主防災組織活動チェックリスト」を使って、自分たちの組織が「できていること、できていないこと」を把握し、現状を確認してみましょう。

いつ実施すればいいの？

- ① 一年間の活動計画を考える前
- ② 活動の最後
- ③ ①と②を比較してみましょう。

誰がチェックするの？

自主防災組織の主要役員（2～3名）が集まり、自分たちの組織や活動状況についてチェックしましょう。

チェック結果をどう使うの？

- 「できていること、できていないこと」を整理しましょう。
- 「できていること」は継続して実施し、「できていないこと」は、できそうな項目から1つずつ実践していきましょう。

※チェック例

自主防災組織活動チェックリスト

実施日

- このチェックリストは、自主防災組織の役員を対象としたものです。
- 以下の項目を『○・×・△』の3段階で評価し、自分たちの活動状況を把握しましょう。

段階	No.	項目	評価
組織結成段階	1	安全安心な地域づくりを目的に、一緒に活動を行う仲間がいる	○
	2	地域で自主防災組織の必要性が認識されている	△
	3	自主防災組織の役員が緊急時に率先して対応することを自覚している	○
	4	自主防災組織の役員が行政から発信される防災情報を理解している	×
活動初期段階	5	地域で防災について話し合う機会を設けている	×
	6	地域で講座や勉強会を開き、専門家の話を聞く機会を設けている	○
	7	地域に家具の転倒防止や非常持出品など、家庭の備えを呼びかけている	×
	8	地域に避難経路・避難所を周知している	○
	9	地域に災害時の情報伝達方法を周知している	△
	10	自主防災組織の役員が過去の災害や被災状況を理解している	○
	11	自主防災組織の役員が率先して行動している	○
活動中期段階	12	災害時の活動を指揮できる人が一定人数いる	△
	13	自主防災活動に女性の意見を反映できる役員がいる	×
	14	自主防災組織内で平常時・災害時の役割分担が決められている	△
	15	自主防災組織の役員を専任化している	×
	16	地域で防災計画（災害時対応マニュアル）を作成している	○
	17	地域内で活動している様々な団体と定期的な情報交換を行っている	×
	18	各家庭の防災対策を充実させる活動を実施している	×
	19	地域の連携を意識した活動を実施している	○
	20	地域の危険箇所などに対し、安全点検を行っている	○
活動成熟段階	21	自主防災組織内に防災に関する知識を有し、活動を指導できる人がいる	×
	22	自主防災活動において地域の様々な団体との連携・協力体制ができている	○
	23	共助に関する知識を深める活動を行っている	×
	24	近隣地域の自主防災組織と防災について情報交換を行っている	×
	25	近隣地域の自主防災組織と連携した活動を実施している	×

評価はどうやって判断するの？

【評価例】

- ：十分にできている取組み
- △：始めたばかり、または、十分ではない取組み
- ×：まだやっていない取組み

【チェック結果から見る考察例】

- 役員が緊急時に率先して対応することを自覚しているが、行政から発信される防災情報は理解されていない。
- 専門家の話を聞く機会は設けているが、地域で話し合う機会は設けていない。
- 地域で防災計画を作成しているが、組織内の役割分担が不十分である。
- 地域の様々な団体との連絡・協力体制はできているが、日頃の交流がない。

など

組織によっては、活動中期段階以降に「○」が多く、結成段階に「×」が多い場合もあります。活動段階はあくまで「目安」ですが、できていない項目については、組織の足固めとなる「組織結成段階」から実施していくことが望ましいです。